

VOICE 合格者の声

JSHI のイーラーニングを昨年受講して見事、合格し、今春から認定会員実務登録者として入会している小西正雄さんに、受験勉強のコツについて、教えてもらいました。

Q.小西さんは、試験当日までどのような勉強をしたのですか？



小西さん

まずは、ホームインスペクションの基本となる、国土交通省が2013年6月に公布した「既存住宅インスペクション・ガイドライン」を確認しました(注記.2017年2月3日には「既存住宅状況調査方法基準の解説」が国土交通省より公布されています)。

次に、JSHIの参考図書である『JSHI 公認ホームインスペクター【住宅診断士】資格試験テキスト(以下『テキスト』)をアマゾンで購入しました。最初から最後まで目を通してから、ポイント部分に印をつけたり、書き込みをしました。『テキスト』を読むことで、ホームインスペクションに必要な知識の範囲や内容について、大まかに確認することができました。

それから、イーラーニングを受講しました。購入したのは9月下旬です。参考図書とはまた違って、目と耳から同時に情報を得ることができました。

最後に、イーラーニングの学習効果を『過去問題集』で試してみました。さらに、自分で『過去問題集』の問題を分野別に分類し直したものを作成し、何問も続けて解答することで、出題の傾向や、文中のキーワードなどを確認することができました。

Q.イーラーニングの良かった点を教えてください。



小西さん

講師の解説を繰り返し視聴できる点です。うっかり聞き逃したり、理解出来なかった部分を何回でも確認できます。対面講習では、このようなとき、後で自分から質問するなどのアクションを起こさないと、わからないところそのままになってしまいがちですので。

画面を一時停止した状態で、ノートを作成できるのも効果的でした。キーワードの書き出しや、もっと詳しく知りたい点をウェブで検索することもできます。時間をかけて自分なりに情報を整理して学習すると、記憶へ定着が良くなります。復習する際にも役立ちました。

Q.イーラーニング全体のボリュームはいかがでしたか？



小西さん

解説はそれぞれ 15 分程度に細分化されていたので、集中力を維持することができ、視聴時間を調整して勉強時間を工面するのにも便利でした。
また、PDF の添付資料に重要なポイントが簡潔に記述されていて、理解を深めるのに大いに役立ちました。

昨年度版には「実践！ホームインスペクション＜既存一戸建て入門編＞」が初回サービスコンテンツとして付いていましたが（動画は別途販売中）、実際のホームインスペクションの現場で気を付けなければいけない内容を確認することができました。
特に、ホームインスペクターの中立性、第三者性を意識して、不動産売買の意思決定を誘導するような言動を控えること、個人情報への漏洩に注意することが大事なのだと、意識できるようになりました。

Q.そもそも、JSHI の認定試験を受けようと思った動機を教えてください



小西さん

既存住宅の流通を活性化するため、既存住宅に関する広範囲の知識を有する人材が求められていると思いました。
仕事の範囲を広げ、消費者の役に立つ専門家になるべく、JSHI の認定資格を取ろうと志しました。

Q.最後に、今年を受験者の方にエールをお願いします。



私がイーラーニングを購入したのは、試験日まで 2 か月を切った 9 月の下旬でした。
最後まであきらめずに、頑張ってください！

©JSHI 参考図書(書籍 2 点、動画配信 1 本)のご案内

<https://www.jshi.org/industry/referbook/>